

歯学部運動会を振り返って

実行委員長 5年 堀 井 信 哉

去る5月8日(土)、毎年恒例の歯学部運動会が行われました。去年と同じく、当日はいい天候に恵まれ、予定通り競技を行うことができました。また、今年は口腔生命福祉学科が新設されたこともあり、いつものチーム数よりひとつ増えて、より白熱した運動会だったと思います。

今回の運動会実行委員長は各部活のキャプテンを集め、くじ引きで決まったのですが、そのくじを作った僕が見事に当たりを引いてしまいました。運命だったのかなとも思います。決まった当初はあまり乗り気はしませんでした。しかし、運動会の日がちが近づくにつれ、僕がやらねば誰がやると思うようになりました。

僕はこの運動会を行う意義は、普段部活などで運動している人もしていない人も全員が一緒になり、いい汗をかいて同じ学年のためにチーム一丸となってがんばることだと思います。また、競技を通して各学年の人や来てくださった先生方と交流を深めることも大切なことです。そういう意味で、普段運動していない人が15人16脚やリレーな

どで一生懸命走ってがんばっている姿を見たり、山田先生、宮崎先生はじめ多くの先生方が学生に混じって綱引きや縄跳びをしているのを見ると、本当にこの運動会をやってよかったなと思いました。

運動会の準備は4月の新しい学年が始まったばかりに始めなければならなかったため、5年生を中心とした各係りのみなさんは本当にがんばってくれました。僕にも至らない点はあったのですが、みなさんが協力して責任を持って、自分たちの役割を果たしてくれたおかげで、これまでに負けないくらいの盛り上がりを見せた運動会だったと思います。ありがとうございました。

最後になりましたが、お忙しい中、お越しいただいたたくさんの先生方、ご協力いただいた各講座の先生方、寄付をいただいた方々にこの場を借りて御礼申し上げます。来年以降も新しい実行委員長の下、この運動会が成功を収められるようご協力よろしくお願いいたします。

